









魚屋の船を通りかゝる。「アッ、マクロ、シン、オナシム！」と、日本語で呼びおぼえん。岸の上には小振りのマロの半身が横たえられ、キロは切羽の身塊がいづつも並べられてゐる。

そこへ、バゲツを下げ、餌掛けのお兄さん進み出て、「あつ、馬鹿、間にな大きなタリにたぐりと水を含ませマダの切り口に、パッパツ振りかけたのであつて、乾きを防ぎ、見かけよくするたためか」とおぼれ私のお刺身の虚偽の

表示の標準小売価格には消費税は含まれておりません。